

# 諸外国の車両安全対策の取り組み状況

資料7

	EU	米国
目標	2020までに交通事故死者数を半減	2011年の終わりまでに交通事故死亡率を1.13-1.16まで削減
概要	車両の安全性の向上、道路交通の安全性を高める新技術の使用促進、交通弱者(歩行者・自転車)保護等の7つの政策目標を含む「交通安全プログラム」により、2011年から2020年に至る10年間で、欧州における交通事故死者数の半減を目指すもの。	ドライバーを対象とした各種の取り組み、道路環境の改善、及び安全性を向上する新技術の導入により、2011年の終わりまでに交通事故死亡率(※)を1.13-1.16まで減少させる。 (※)1億台マイル当り 行政管理予算局(Office of Management and Budget OMB)のHPから
主な内容	<p>「交通安全プログラム」の中の政策目標にぶら下がる個別の施策のうち、主なものを以下に記載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ オートバイや電気自動車などの車両の能動的及び受動的安全性の向上について、促進する計画を提案</li> <li>➢ 有益な装置を特定するためのアセスメントに係るシステムの共有化の促進</li> <li>➢ 商用車と自家用車について、LDWや衝突警報、歩行者認知システムなどの先進運転支援システム(Advanced Driver Assistance Systems)を後付けすることの実現可能性の評価</li> <li>➢ e-Callの普及促進、及び他の車両へのITS技術の拡大に関する調査の実施</li> <li>➢ 交通弱者保護のための技術基準を調査の上、開発</li> <li>➢ 車両の検査対象に二輪車を含めることについて提案</li> <li>➢ 適切なインフラの設置することなどにより、自転車や他の交通弱者の安全を確保・向上</li> </ul>	<p>2010年から2013年までの間、基準策定と研究領域において進行中のプロジェクトについて記載された「NHTSA Vehicle Safety Priority Plan 2010-2013」から主な施策を以下に記載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 衝突警報システム(FCW)や衝突防止ブレーキ(automatic crash-imminent braking)の装備義務化 →2011年までに判断</li> <li>➢ 速度管理や交差点における衝突回避のためのITS技術(車車間通信、路車間通信)の調査・評価 →2011年までに次段階への移行を判断</li> <li>➢ 次世代NCAP(New Car Assessment Program)によるESCやLDW、FCW(Forward Collision Warning)を超える効果的な先進技術の特定</li> <li>➢ 車ごとの適切なチャイルドシートの使用について、メーカーによる自発的な推薦・NCAPの導入</li> <li>➢ 子供の巻き込み事故防止に資する車両後部の視界を確保するための規則策定 →2011年までに規則制定</li> <li>➢ 衝突時における年配者の胸部保護に適したエアベルト等の技術の評価 →2014年までに次段階への移行を判断</li> <li>➢ 子供(10才児)のためのブースターシートの義務化 →2010年までにパブリックコメントの実施</li> <li>➢ 生物工学による人体傷害評価手法の開発</li> <li>➢ 衝突時緊急通報システム(ACN)と救急医療サービス(EMS)の接続による先進衝突時緊急通報システム(AACN)の規制化 →2011年までに判断</li> </ul> <p>※AACN: ACNから強化された点は、トリアージ判定(傷害のレベル付け)を行うことにより、適切な救急病院への搬送が可能となる点。</p>